

◎「みんな違って、みんないい・・・みんな一緒！」



## 障害者と健常者一緒に

歌や踊り、相互理解イベント

庄内

障害者と健常者の相互理解を深め合うイベント「みんな一緒！」が31日、庄内町の響

ホールで開かれた。

鶴岡市のNPO法人「ぼらんたす」を中心に組織した実行委員会（飯野つや子実行委員長）が初めて企画。障害のあるなしに関係なく、歌や踊りなどを一緒に楽しむことで、ノーマライゼーションの社会実現に貢献しようと呼びかけた。

2部構成で、ステージ企画の2部  
ステージでよさこい踊りを披露する出演者たち。庄内町・響ホール

には、主に庄内地方で活動している10団体の約160人が出演。よさこい踊りやダンス、ピアノ演奏などを繰り広げた。ゲスト参加した「山形心体表現の会」（山形市）は、躍動感あふれる即興のダンスを披露し、会場を沸かせていた。1部では自閉症の子どもをテーマにした映画「星の国から孫ふたり」を上映。同映画の槇坪多鶴子（まきつばたつこ）監督らを招いたシンポジウムを開催した。

山形新聞（2010.11.3（水））